

2014年12月研究会（中部地区）

日 時：2014年12月4日（木曜）18:00～19:30
会 場：名古屋商科大学大学院 伏見キャンパス2階 E21 教室
報告者：鈴木 文三郎（角文株式会社 代表取締役）
テーマ：『創業150年 積み重ねてきた、街づくり。不易流行』
司 会：齋藤 孝一（名古屋商科大学大学院教授）
主 催：一般社団法人事業承継学会（中部地区）

講師プロフィール

鈴木 文三郎（すずき ぶんざぶろう）

講演者プロフィール

1957年8月30日生まれ。80年早稲田大学商学部卒。三井不動産販売勤務、JAIRS（日米経営科学研究所）留学を経て、83年角文木材工業（現すまいの角文）取締役、90年社長、2002年から角文建設社長。刈谷商工会議所副会頭 NPO法人中部圏定期借地借家権推進機構監事 他多数。



<講演要旨>

角文株式会社は、文久3年（1863年）創業者鈴木文助が、木材の販売・建築を請け負う「角屋」として創業し、西三河を中心に公共工事、民間事業の大型開発を幅広く手がけています。昨年、創業150年を迎えました。

今回、ご講演いただいた鈴木文三郎社長は、4人兄弟の長男で、32歳のとき、事前の打ち合わせもなく強いリーダーシップを持つ父から株主総会時に突然「四代目」として社長就任を告げられたそうです。社長就任後は、創業者から受け継がれる「進取の精神」に基づき、国内初の一般定期借地権付き分譲マンションの販売、自然との共生をテーマにしたマンション建設など、人との出会い、自然との共存共栄を大切に、時代の潮流を読んだ先進的な試みを積極的に取り組んでこられました。

創業150年の長い歴史を、地域と共に歩んできた角文株式会社の鈴木社長より、50歳にまとめた「邂逅50」など充実した資料を用いて不易流行をテーマに幼少期からの帝王学、老舗企業における経営承継の秘訣をご講演いただきました。

研究会参加者：40名

